

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
【**単独**・連携事業】

市町名	真岡市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	真岡市夏祭り花火大会 開催事業	総事業費	18,216,857	18,809,696	19,104,511	22,000,000	22,000,000	100,131,064
		うち市町支出額	1,800,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	2,500,000	10,000,000
		うち県交付金	900,000	950,000	950,000	0	0	2,800,000
2	尊徳夏まつり開催事業	総事業費	8,862,832	8,840,484	9,693,354	10,000,000	10,000,000	47,396,670
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,828,000	1,828,000	1,828,000	7,484,000
		うち県交付金	500,000	500,000	914,000	0	0	1,914,000
3	もおか“いちご”フェスタ	総事業費		6,983,343	7,000,000	0	7,000,000	20,983,343
		うち市町支出額		6,835,225	0	0	0	6,835,225
		うち県交付金		3,000,000	0	0	0	3,000,000
4	真岡井頭マラソン大会	総事業費		7,333,545	7,149,739	7,227,025	7,370,000	29,080,309
		うち市町支出額		2,160,000	2,160,000	2,160,000	0	6,480,000
		うち県交付金		1,080,000	1,080,000	840,000	0	3,000,000
5	真岡市音楽祭	総事業費			2,455,657	2,143,660	3,000,000	7,599,317
		うち市町支出額			2,441,638	2,129,655	3,000,000	7,571,293
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
6	真岡市大産業祭	総事業費			1,390,000	1,390,000	1,390,000	4,170,000
		うち市町支出額			1,260,000	1,260,000	1,260,000	3,780,000
		うち県交付金			630,000	630,000	630,000	1,890,000
7	もおか木綿踊り	総事業費			5,606,561	6,801,271	6,100,000	18,507,832
		うち市町支出額			3,700,000	5,000,000	4,200,000	12,900,000
		うち県交付金			1,500,000	1,500,000	0	3,000,000
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	27,079,689	41,967,068	52,399,822	49,561,956	56,860,000	227,868,535
		うち市町支出額	2,800,000	11,895,225	13,289,638	14,277,655	12,788,000	55,050,518
		うち県交付金	1,400,000	5,530,000	6,074,000	3,970,000	1,630,000	18,604,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡井頭マラソン大会
事業主体の名称	真岡井頭マラソン大会実行委員会
代表者の名称	委員長 田上 富男
事業主体の所在	〒321-4325 真岡市田町1251-1 真岡市総合体育館内スポーツ振興課
事業主体の概要	<p>・団体の目的:マラソンを通して市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供するとともに、本市のPRの場とすることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和59年</p> <p>・構成員等:市体育協会陸上部、市体育協会、市スポーツ推進委員会、市内小中学校代表、真岡ファミリー案走会、井頭公園管理事務所、市職員等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本大会は、今年で第36回を迎え、市内をはじめ関東地区を中心に全国各地の多くのマラソン愛好者から親まれ、参加人数2,500人におよぶ本市の秋一大イベントとして定着している。大きな市民マラソン大会の影響により、マラソン愛好家が増加しており、ここ数年徐々に参加者数が増えてきている現状にある。</p> <p>しかし、大会開催地である井頭公園は中心市街地や観光地から離れており、マラソン参加者が観光地から足を運び、消費拡大や地域活性化とまでは結びついていないことが課題となっている。</p>
事業目的	<p>「市民ひとり1スポーツ」の推進と生涯スポーツの振興を図るとともに、本市のPRや魅力を積極的に発信し、市外から本市を訪れるきっかけをつくり、来場者に興味をもってもらい、交流人口を増加させることで地域の活力の向上や地域産業の活性化につなげ、将来の移住定住候補地として考えてもらう。</p>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>◎真岡井頭マラソン大会の開催(令和元年10月6日(日))</p> <p>・種目 一般10km・4km 中学生4km 小学生5・6年2km 親子ペア2km 計15部門</p> <p>・参加人数(エントリー数) 約1,892人(市内601人、県内906人、県外385人)</p> <p>・コース 井頭公園及びその周辺道路</p> <p>《真岡市を訪れるきっかけ》</p> <p>○集客(広告・宣伝)</p> <p>・チラシ4,000枚、ポスター100部作成。(益子芳星高等学校、茂木高等学校、上三川高等学校、上三川町立中学校教員、栃木県体育館、栃木県総合運動公園、スポーツショップ、下野新聞社、読売新聞社、とちぎテレビ等) /</p> <p>・HPに掲載</p> <p>《真岡市に興味を持つ》</p> <p>○来場者に対し、真岡市の魅力PR…観光パンフレットの配布</p> <p>中心市街地や観光地に足を運んでもらえるよう観光パンフレットを配布。また井頭公園に隣接する井頭温泉・チャットパレス(宿泊施設)・あく里っ娘(井頭フレッシュ直売所)に気軽に立ち寄ってもらえるよう観光パンフレットを配布し、マラソン大会以外でも楽しめることをPRし、何度も遊びに来てもらえるよう魅力を発信した。</p> <p>○観光PRできるブース設置</p> <p>特産物である真岡木綿やSLグッズ、いちごを使ったクッキーやジャムの販売をした。</p> <p>○入賞や参加賞とは別に特別賞を設け、本市で生産された米や農産物を贈呈した。</p> <p>○シティブロモーションによる真岡市の魅力PR…昨年4月に作成した移住・定住者向け情報冊子「住もおか!モオカ」の配布</p> <p>○市公式Instagramに真岡の魅力を投稿し、写真を通して情報発信していく。</p> <p>○総合運動公園(陸上競技場・多目的広場・子ども広場・健康広場)のPR</p> <p>一昨年度は、弓道場とクラブハウスが完成し、昨年度は、テニスコートと乗り物広場が完成し、広く周知しスポーツの振興を図った。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>令和元年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>・数値目標 年間観光客入込数 平成25年度284.5万人→平成31年度300万人(H29実績299万人)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理		マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理
事業費	7,333,545	7,149,739	7,227,025	21,710,309	7,553,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,160,000	2,160,000	2,160,000	6,480,000	2,160,000
うち県交付金	1,080,000	1,080,000	840,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	5,173,545	4,989,739	5,067,025	15,230,309	5,393,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	大橋 真代
電話	0285-83-8102
連絡先 FAX	0285-83-5896
E-mail	sourouseisaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡井頭マラソン大会	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	2,160,000	真岡市補助金
エントリー料	4,452,000	大会参加者 一般 3,000円 × 1,280人 = 3,840,000円 親子 2,000円 × 141組 = 282,000円 中学生 1,000円 × 260人 = 260,000円 小学生 1,000円 × 70人 = 70,000円
繰越金	405,009	前回繰越金
雑入	210,016	預金利子、広告料等
計	7,227,025	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	2,696,236	0	0	2,696,236	参加賞2,286,396円、トロフィー、親子メダル、特別賞、交通指導員謝礼等
消耗品費	205,914	0	0	205,914	事務用品、大会用医薬品等
食糧費	195,257	0	0	195,257	昼食弁当代、スポーツドリンク粉末、救護用飲料等
印刷製本費	736,750	660,000	90,000	76,750	開催要項 4,000枚 × @33.75円 × 1.08 = 145,800円 ポスター 100枚 × @680円 × 1.08 = 73,440円 プログラム 2,400枚 × @165.42円 × 1.08 = 428,760円 封筒等
委託料	1,863,458	1,000,000	500,000	863,458	エントリー計測業務 1,175,871円、エントリー受付業務、花火打上、軽飯食サービス等
使用料及び賃借料	797,900	500,000	250,000	297,900	テント等各種備品賃借料
通信運搬費	267,630	0	0	267,630	要項送料、参加通知書送料
備品購入費	26,810	0	0	26,810	血圧計、カラーコーン
手数料	540	0	0	540	両替手数料
繰越金	436,530	0	0	436,530	
計	7,227,025	2,160,000	840,000	5,067,025	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いください。  
 具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。  
 連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。  
 1 市町のみで事業を実施する場合  
 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名

真岡市

事業名

真岡市音楽祭

事業主体の名称

真岡市音楽祭実行委員会

代表者の名称

会長 深野 照代

事業主体の所在

〒321-4305 真岡市荒町1201番地 真岡市文化課内

事業主体の概要

・団体の目的:市民の音楽文化活動への参加意欲を喚起し、地域文化の交流・発展に寄与することを目的とする。  
・設立年月日:平成8年  
・構成員等:真岡市内で活動している音楽団体等

当該事業に係る地域の現状と課題

今回で第24回を迎え、音楽を楽しみ、関心をもってもらうために実施しており、未就学児から一般音楽団体まで出場できるコンクール形式をとらない音楽祭として定着している。市内の小学校、中学校、高校が合同吹奏楽団や合唱団を編成して出演し、他校の児童生徒との貴重な交流の機会となっている。また、一般団体もジョイント形式を取り入れ、ジャンルもクラシック音楽にこだわらず、和太鼓集団が参加するなど多彩な演奏を楽しむことができる。  
しかし、こうした自主的な音楽文化活動が行われる一方で、近年、参加者の高齢化や固定化、若年層の活動離れ、文化協会会員の高齢化、文化協会団体数や会員数の減少などの問題があり、今後いかにして参加者や会員数を増やし、市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を充実させながら、誇りと愛着の持てる地域コミュニティを築き、そして維持していくことが課題となっている。

事業目的

・市民の音楽文化活動への参加意欲を喚起する。  
・地域文化の交流・発展に寄与する。  
・ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を醸成する。  
・真岡市に興味をもってもらい、移住定住を促進する。

事業概要

【令和元年度】  
◎音楽祭の開催(令和元年11月10日(日))  
園児の太鼓演奏から始まり、小中高生の吹奏楽部の演奏や合唱、特別出演団体や一般団体の演奏など全8部で構成されている。  
・参加人数 約1,500人  
・参加団体 市内の幼稚園・保育園、小中学校、高等学校、一般音楽団体(本市に活動拠点を置く)、特別出演団体  
○開催前の主な取り組み  
・平成31年4月 参加団体公募締切  
・令和元年5月 無料練習の一斉受付  
・令和元年8月 プログラム編成、合同演奏団練習  
・令和元年9月 ポスター・チラシによる開催案内を開始(ポスター50枚、チラシ5,000枚、配布場所:県内公文教施設他)  
・令和元年11月 楽器の輸送、児童生徒の送迎  
《音楽文化活動への参加意欲向上の取組》  
・未就学児から一般音楽団体まで出場できるコンクール形式をとらない音楽祭で幅広い層の参加を募っており、近年は参加者や観客者が増加傾向である。自ら企画し演奏し、そして演奏する楽しみを体得する。  
《地域文化の交流・発展の取組》  
市内の小学校、中学校、高校が合同吹奏楽団や合唱団を編成して出演し、他校の児童生徒との貴重な交流の機会となっており、一般の団体も出演するため、演奏の仲間づくりができるとともに、地域との繋がりが密接なものとなる。  
《真岡市に興味を持つ》  
・真岡市の魅力PR...観光パンフレットおよびシティプロモーション冊子の配布。  
・公式Instagramに真岡の魅力を多くの方に写真を通して情報発信。  
【令和2年度以降】  
令和元年度の実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる  
【数値目標】 年間観光客入込数 平成25年度284.5万人→令和元年度300万人(H30実績295.7万人)  
○基本目標4 安心して暮らしやすい地域をつくる  
【数値目標】 安心して暮らすことができると感じている市民の割合 平成25年度45.7%→令和元年度70%(H29実績48.8%)  
【KPI】 自治会加入率 平成25年度78.2%→令和元年度82%(H29実績75.6%)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 初年度
事業内容	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等		音楽祭の開催 ・参加団体受付 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等
事業費	2,455,657	2,143,860	3,000,000	7,599,317	3,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,441,638	2,129,658	3,000,000	7,571,293	3,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	0
その他自主財源等	14,019	14,202	0	28,024	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	大橋 直代
電話番号	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡市音楽祭	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	2,129,655	真岡市交付金
雑収入	14,005	協賛金、預金利息
計	2,143,660	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	465,740	465,740	227,250	0	特別演奏出演料 450,000円 一般ボランティア謝礼 4,500円 特別演奏花束代 5,000円 特別演奏お土産代 6,240円
消耗品費	6,578	6,578	0	0	事務用品等
食糧費	22,762	22,762	0	0	特別演奏・スタッフ弁当 17,800円 特別演奏ケータリング 4,962円
印刷製本費	284,900	284,900	142,450	0	ポスター・チラシ印刷 148,500円 プログラム印刷 136,400円 郵送料 16,806円
手数料	16,806	16,806	0	0	
保険料	0	0	0	0	
委託料	1,346,874	1,332,869	630,300	14,005	音響・照明委託料 220,000円 児童生徒送迎業務委託料 867,434円 楽器輸送業務委託料 164,400円 警備業務委託料 95,040円
計	2,143,660	2,129,655	1,000,000	14,005	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡市大産業祭
事業主体の名称	真岡市大産業祭実行委員会
代表者の名称	委員長 石坂 真一
事業主体の所在	〒321-4395 真岡市荒町5191番地 真岡市商工観光課内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:真岡市の商業・工業・農業を広く紹介し、市民生活の向上と経済活動の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和58年</p> <p>・構成員等:真岡市、真岡商工会議所、真岡市商店会連合会、真岡工業団地総合管理協会、真岡産業振興会、はが野農業協同組合、真岡市消費者まつり実行委員会、真岡市子ども会育成会連絡協議会</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>大産業祭は、今回で第30回を迎え、商業・工業・農業が集結する秋の一大イベントとして定着している。本市では、商業・工業・農業など、バランスのとれた各種産業の発展を図るとともに、首都圏に位置する地理的優位性や物流の基幹となる北関東自動車道を十分に活かした基盤整備を図り、企業誘致を推進し雇用環境を創出するなど、地域経済の活性化に取り組んでいる。しかし、商業地には大型店や量販店が点在し、既存の中小事業者は極めて厳しい経営環境にあるため、創意工夫した共同事業を実施することで、中心市街地の賑わいや魅力ある商店街づくりを促進する必要がある。</p> <p>また、「生産量日本一のいちごのまち」として知名度アップやブランド方向上に努めるほか、トマトやなすなどの施設園芸作物を支援し「園芸立国もおか」の推進を図っている。しかし、農業従事者の高齢化や担い手不足、産地間競争の激化などに対応するため、いかにブランド力を高め収益性の高い農業生産に努めるかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・真岡市の商業・工業・農業を広く紹介し、魅力を市内外に積極的かつ効果的にPRする。</p> <p>・市民生活の向上と経済活動の発展に寄与する。</p> <p>・各種地域資源をつないだ「真岡ブランドづくり」を推進する。</p> <p>・次代を担う後継者を確保し、移住定住を促進する。</p>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>市民広場をメイン会場に、産業祭、JAまつり、消費者まつり、子どもまつり、環境展など、真岡市の商業・工業・農業が集結する一大イベント「大産業祭」を開催</p> <p>◎大産業祭の開催(令和元年11月23日(勤劳感謝の日))</p> <p>①産業祭(事業主体:真岡商工会議所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員事業所のPR・製品紹介、ミニ建前、リフォーム相談会、「B級グルメ」販売、ステージイベント、ふれあい動物広場</li> <li>・北関東交流フェア(佐野市、大洗町の特産品の販売)</li> <li>・埼玉県桶川市(防災協定都市)による特産品販売</li> <li>・自衛隊PRコーナー(自衛隊車両や装備品の展示、グッズ販売)</li> <li>・警備車両の展示</li> </ul> <p>②JAまつり(事業主体:はが野農業協同組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品の無料配布や販売による真岡ブランドづくり、消費拡大を図った。</li> <li>・各種PRブース設置(地域芸能の発表、農協観光PR、農作業安全PR、作品や活動写真の展示)</li> <li>・JA、県、市合同の新規就農者相談会</li> </ul> <p>③消費者まつり(事業主体:消費者まつり実行委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者団体が一堂に会し日頃の学習成果を発表するとともに、市民に消費生活についてのPR</li> <li>・食品表示を学ぶコーナー、物品の販売など</li> </ul> <p>④環境展(事業主体:市環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル品の展示及び抽選会、古本販売、フリーマーケット、使用済小型家電の回収など</li> </ul> <p>⑤子どもまつり(事業主体:真岡市子ども会育成会連絡協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬店、普遊び、クイズ大会を実施し、子どもの健全育成を図った。</li> </ul> <p>○誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同時開催するJAまつり、産業祭との統一チラシを作成し、市内全域にオールポストすることで、集客力を向上させ各産業経済の活性化を図った。</li> <li>・市広報、会議所だより、農協だより、観光協会ホームページ、下野新聞、真岡新聞等に掲載。ケーブルテレビ等での周知した。</li> </ul> <p>【令和2年度以降】</p> <p>令和元年度の実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標1 しごとをつくり、安心して働けるようにする</p> <p>【数値目標】</p> <p>真岡第1～5工業団地、大和田産業団地への立地企業数 平成25年度87社→平成31年度95社(H30実績96社)</p> <p>【KPI】 製造品出荷額 平成25年度5,434.3億円→平成31年度6,600億円(H28実績5,788.8億円)</p> <p>卸売・小売業の販売額 平成25年度1,014.1億円→平成31年度1,029.3億円(H28実績1,198.4億円)</p> <p>いちご生産量 平成25年度6,941t→平成31年度7,000t(H30実績7,059t)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	大産業祭の開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等 ・警備及び交通整理	大産業祭の開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等 ・警備及び交通整理	大産業祭の開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等 ・警備及び交通整理		大産業祭の開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等 ・警備及び交通整理
事業費	1,390,000	1,390,000	1,390,000	4,170,000	1,390,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,260,000	1,260,000	1,260,000	3,780,000	1,260,000
うち県交付金	630,000	630,000	630,000	1,890,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	130,000	130,000	130,000	390,000	130,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	大橋 真代
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5836
E-mail	souzouseisaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡市大産業祭	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,260,000	真岡市補助金
負担金	130,000	統一チラシ作成(農協、商工会議所)
計	1,390,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託料	766,920	760,000	380,000	6,920	会場警備費
広告費	411,466	320,000	160,000	91,466	統一チラシ作成費 合図花火
工事請負費	159,774	140,000	70,000	19,774	放送設備電気工事代
使用料及び賃借料	51,840	40,000	20,000	11,840	テント・机・椅子レンタル料
計	1,390,000	1,260,000	630,000	130,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	もおか木綿踊り
事業主体の名称	もおか木綿踊り実行委員会
代表者の名称	委員長 岡本 俊夫
事業主体の所在	〒321-4305 真岡市荒町1203番地 真岡商工会議所内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 中心市街地及び商店街の活性化を図り、活気と賑わいを創出するとともに、多くの市民が参加し、感動を共有することで連帯感とふるさと意識を高めることを目的とする。</li> <li>・設立年月日: 平成元年</li> <li>・構成員等: 市、商工会議所、商店会、関係区長等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>昭和28年に輪踊りによる真岡町盆踊り大会が始まり、ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を深める地域の行事として愛されてきた。踊り手、観客の減少により、平成元年に盆踊り検討委員会を立ち上げ、翌年商店街を会場とした流し踊りによるもおか木綿ふるさと踊りを開催、その後も時代のニーズに応じて思考を凝らしながら、平成19年に「もおか木綿踊り」と名称を変更し、また真岡の5大夏祭りの1つとして定着している歴史ある事業である。</p> <p>しかし、少子高齢社会の進展に伴い、本市においても人口減少が進み、将来的に祭りの担い手不足が懸念されている。祭りの衰退は、地域の活力の低下さらには若者の人口流出にもつながりかねないため、シビックプライドの醸成することで本市に住み続けたいと思われるまちづくりを実現し、そしていかにして市外からの訪問者を増やし、地域を気に入ってもらい、将来的に移住定住地として選んでもらうかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地及び商店街の活性化を図る。</li> <li>・市外から真岡市を訪れるきっかけをつくる。</li> <li>・来場者に真岡市に興味をもってもらい、将来の移住定住候補地として考えてもらう。</li> <li>・ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を醸成する。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>マンネリ化を解消すべく、開催内容等を見直し、子どもたちが容易に参加できる体制を確立することで、中心市街地である荒町本通りに賑わいを創出し、地域商店会の活性化を図る。</p> <p>○もおか木綿踊りの開催(令和元年8月24日(土))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体 約30団体</li> <li>・参加人数 約1,700人</li> </ul> <p>①流し踊り 荒町本通りにて、瑞穂踊りを基本に踊る。</p> <p>②創作踊り よさこい、ヒップホップダンス、フラダンス、サンバパレード等を披露する。また、移動式ステージを踊り会場の中央部に配置し、踊りリーダー等がステージ上で踊り、会場を盛り上げる。</p> <p>③こどもお祭り広場 これまでの荒町オグットパークからまちあるき駐車場に開催会場を祭りの中心部に移設し、模擬店や昔遊びなどの広場を作り、子育て世代や若い世代を呼び込み、賑わいや活気を創出し誘客を図るとともに、本市のイメージキャラクターによるPRを行う。</p> <p>○誘客 チラシを作成し、新聞折り込みすることで、集客力を向上させ、中心市街地及び商店街の活性化を図っている。</p> <p>市広報、会議所だより、市、商工会議所、観光協会ホームページ、下野新聞、真岡新聞等に掲載。ケーブルテレビ等での周知。</p> <p>・荒町本通りでは、真岡木綿会館に加え、本市の観光拠点である久保記念観光文化交流館において、観光情報などの様々な魅力を発信する。</p> <p>【真岡市に興味を持つ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真岡市の魅力PR…観光パンフレットおよびシティプロモーション冊子の配布。</li> <li>・公式Instagramに真岡の魅力を多くの方に写真を通して情報発信していく。</li> </ul> <p>【令和2年度以降】</p> <p>令和元年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及び KPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>・数値目標 年間観光客入込数 平成28年度291万人→平成32年度303万人(R1実績318万人)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	もおか木綿踊りの開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等	もおか木綿踊りの開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等	もおか木綿踊りの開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等		もおか木綿踊りの開催 ・参加団体受付 ・広報宣伝等
事業費	5,606,561	6,801,271	6,100,000	18,507,832	6,100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,700,000	5,000,000	4,200,000	12,900,000	4,200,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,906,561	1,801,271	1,900,000	5,607,832	1,900,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	大橋 真代
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sououseisaku@city.moka.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	もおか木綿踊り	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	5,000,000	真岡市補助金
補助金	50,000	観光協会補助金
スポンサー収入	1,500,000	スポンサー42社
保存振興会補助金	0	
繰越金	241,266	
雑収入	10,005	
計	6,801,271	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	504,864	500,000	250,000	4,864	参加者への手拭代
報償費	459,573	200,000	70,000	259,573	踊り講師謝礼 32268円、団体・個人賞 147205円、サンパ出演費28万円
旅費	47,498	0	0	47,498	旅費
消耗品費	5,280	0	0	5,280	事務用品、トレットバー4212円
食糧費	134,450	0	0	134,450	会議食糧費
印刷製本費	662,990	500,000	250,000	162,990	ポスター印刷代152064円、チラシ印刷代 465242円 他印刷費45684円
通信運搬費	24,605	0	0	24,605	郵送料
広告費	192,272	160,000	50,000	32,272	真岡新聞掲載 99608円、やぐら看板取付 92664円
保険料	18,380	0	0	18,380	賠償責任保険18380円
委託料	287,567	0	0	287,567	はやし方委託30千円、煙火48600円、清掃委託25203円、警備委託123440円、撮影委託 10324円
工事請負費	3,294,002	3,200,000	750,000	94,002	やぐら設置334800円、電気工事1847664円、ライトアップ照明設置486千円、音響設備設置70千円、踊り用ステージ作成476610円他
使用料及び賃借料	447,978	440,000	130,000	7,978	テント借用料250020円、トイレ借用料18800円、発電機賃借料2258円、北FAX使用料 32400円、会場使用料36490円、軽トラ借上料 0.5千円
手数料	20,108	0	0	20,108	仮設トイレし尿処理手数料9200円、半導等クリーニング手数料10044円、搬送手数料964円
原材料費	88,518	0	0	88,518	提灯用仮柱他 88518円
修繕費	0	0	0	0	
雑費	3,000	0	0	3,000	祈願書
繰越金	610,186	0	0	610,186	
計	6,801,271	5,000,000	1,500,000	1,801,271	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合